

学びを深める観察・実験にするためのチェックリスト

	チェック項目	手立て（具体例）	
課題の把握	1	<input type="checkbox"/> 子供たちの既習知識や経験が足りているか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 導入実験や体験活動を取り入れる ・ 同じ分野で今まで学習したことを整理する ・ 前時の学習で分かったこと等を確認する
	2	<input type="checkbox"/> 子供たちが疑問をもつことができているか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然事象に対して、不思議だと思わせたいこと、気付かせたいことを明確にしておく ・ 導入実験や体験活動中に子供の気付きを生む発問や声かけをする
	3	<input type="checkbox"/> 主体的に知りたい、調べたい、解決したいと思える課題設定となっているか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「どういうこと？」（説明）、「わけは？」（根拠や理由）、「例えば？」（具体例）、「それでいい？」（確認）等、意図のある発問を行う ・ 子供から出た疑問を整理し、学習課題をつくる
課題の追究	4	<input type="checkbox"/> 根拠のある予想（仮説）を立てているか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話型や文型を使って予想や仮説を表現させる ・ キーワードを提示し、それらを使って文章化させる ・ 個人で考えた予想（仮説）をグループで共有させ、予想に対する考えを深める
	5	<input type="checkbox"/> 学習課題と観察・実験の目的、方法が明確でつながりのある学習活動となっているか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予想（仮説）に合わせた観察・実験の方法を考えさせる ・ 重い、軽い等感覚的なものは、比較できるよう数値化させる ・ 観察・実験のポイントを確認する
	6	<input type="checkbox"/> 学習課題の解決につながる観察・実験となっているか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題や状況に応じた観察・実験の学習形態（個人・ペア・グループ）にする ・ 結果を数値やグラフとして表す ・ グループ毎に異なる実験を行った場合、結果を共有する方法を工夫する（グループ毎の発表・演習実験、動画の活用など）
課題の解決	7	<input type="checkbox"/> 観察・実験の結果から考察し、表現できているか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予想（仮説）と結果を比較し、振り返らせる ・ 結果から分かることを自分の言葉で表現させる（段階に応じて、話型・文型→キーワード提示→自分の言葉での表現） ・ 子供たちの考察が妥当なものかどうかを自己解決的に判断するために、ペアやグループ活動で話し合わせる ・ ホワイトボードで図や説明を書き込みながら話し合わせる ・ グループ活動の場面で適宜介入し、考察した理由を聞いたり、考察の根拠となる結果を確認したりする
	8	<input type="checkbox"/> 学習課題に対する結論としてまとめているか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 考察を共有する場面で「どういうこと？」（説明）、「わけは？」（根拠や理由）、「何が言える？」（考察）等、意図のある発問を行う ・ 子供たちが考察し、発表したことを板書等に位置付け、共通点、相違点に気付かせる ・ グループや学級全体での活動から個に戻って考えを整理する時間をとる
	9	<input type="checkbox"/> 導き出した結論から、新たな疑問や日常生活へつながりをもつことができているか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習で明らかにできたこと、明らかにできなかったことを振り返らせる ・ 自然事象が、日常生活と関連していることを考えさせる